

公益財団法人福島県産業振興センター理事長 様

被災中小企業施設・設備整備支援事業に係る資金の借入申込書

被災中小企業施設・設備整備支援事業につきまして、下記のとおり借入れを申し込みます。
なお、貸付けの決定及び資金の交付を受けることとなった場合は、借入金額及び償還方法、連帯保証人・担保については、貴センターの指示に従います。

【被災中小企業施設・設備整備支援事業の区分】（以下のいずれかを選択）

- 認定を受けた復興事業計画書に記載されている中小企業者に対する貸付け
 中小企業団体に対する貸付け
 貸工場等に入居する中小企業者に対する貸付け
 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助事業に関する貸付け
 なりわい再建支援事業に関する貸付け（令和3年及び令和4年福島県沖地震）

【借入希望額】（本設備に係る資金計画の借入申込額と一致）

金： 20,900 千円

【希望償還期限・据置期間】

償還期限： 7 年 ・ 据置期間： 1 年

（添付書類：次のうち該当するもの）

- 1 過去3事業年度の税務申告書（決算書、付属明細書、勘定科目内訳書、固定資産台帳を含む。）の写し及び直近の残高試算表
- 2 国税及び県税の納税証明書（国税：法人用「その3の3」、個人用「その3の2」）
- 3 申請者及び連帯保証人の名寄帳（評価額が記載されたもの）
- 4 登記事項証明（商業登記簿謄本、個人の場合は住民票）
- 5 金融機関からの借入がある場合は借入返済表
- 6 借入希望額の根拠となる資料（カタログ、設計図、見積書等の写し）
- 7 り災証明書の写し
- 8 復興事業計画書に係る認定通知書の写し、仮設工場の入居を証明するものの写し
- 9 その他必要と認める書類

* 審査の過程で、上記書類以外の資料等の提出を求められることがあります。
* 個人情報、当センターの規定に基づき、当事業以外の目的で使用することはいたしません。
* 反社会的勢力に該当する方は、本貸付制度を利用できません。

【申込人の概要】

ふりがな 企業名	かぶしきがいしゃふくしま 株式会社福島	連絡担当者名 福島 二郎 (総務部長)
ふりがな 代表者名	ふくしま たろう 福島 太郎	連絡先 (電話番号) 024-000-0000 090-0000-0000 (携帯)
本社所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町5-2	電話番号 : 024-000-0000 FAX : 024-000-0000
支社・工場 所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町2-10	電話番号 : 024-000-0000 FAX : 024-000-0000

※支社・工場に係る欄は、被災した支社・工場の所在地、電話番号等を記入。

【企業概要】

資本金	10,000 千円		大企業の 出資割合	0 %	
従業員数 (企業全体の もの)	常勤役員	2 名	沿革	創業	昭和58 年 11 月
	常用従業員	30 名		法人化	昭和58 年 11 月
	小計	32 名		通算	28 年 11ヶ月
	パート等	5 名		県立地	昭和58 年 11 月
	合計	37 名			
主な業種	金属製品製造業		加入団体	〇〇〇〇組合	

【設備導入計画】

(金額は消費税込み)

設備名	形式・規格	法定耐用年数	単価 (千円)	数量	金額 (千円)
〇〇工場	鉄骨平家 00㎡ (建替)	24年	55,000	1	55,000
横型マシン グセンター	〇〇社製 XX-X (入替)	10年	11,000	1	11,000
				合計金額	66,000
設置時期	令和〇〇年〇〇月中旬		設置場所	〇〇市〇〇町2-10	

設備の必要性と効果など

〇〇工場は、売上の〇%を占める〇〇製品の生産拠点であり、物流面においても利便性が高いことから、現在地に建替えを行うもの。マシンングセンターは、〇〇部品を〇〇加工する設備であり、震災前の稼働率は〇〇%であったことから、不可欠な設備である。

導入予定設備の中長期的な使用方法

【本設備に係る資金計画】（設備ごとに異なる場合は、それぞれを作成）

（千円）

① 設備導入合計額	借入申込額	② 補助金	③自己資金	③ その他借入額
66,000 (消費税込) 設備導入計画と同額	20,900 =①-②-③-④	45,000 補助金決定額	100 自己負担額(貸付対象経費の1%又は10万円のいずれか低い額)	0 その他借入がある場合は概要を下欄に記載してください。
その他借入額の概要				
借入先	借入金額	借入期間	利率(年利%)	その他

【商取引先の現状】

取引先	所在地	主要取引品目	依存度
(株)〇〇工業	福島市〇〇	省力化機械	70%
(株)〇〇製作所	郡山市〇〇	液晶関連	20%
その他			10%

【金融機関との取引状況】

（千円）

	金融機関名	当座・普通		定期・積金	合計	
預金	〇〇銀行〇〇支店	普通	5,000	定期	2,000	7,000
	〇〇信金〇〇支店	普通	3,000			3,000
借入金	借入先	長期・短期	借入額	残高	借入期間	利率
	〇〇銀行〇〇支店	長期	550,000	329,100	〇.〇～〇.〇	X.XX%
	〇〇銀行〇〇支店	短期	8,000	5,000	〇.〇～〇.〇	X.XX%

【決算実績と今後の予定】

決算期 (過去3年間、今後3年間)	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	税引後利益 (千円)	減価償却費 (千円)
令和〇1年 3月(3年度前)	680,274	99,346	23,561	28,980
令和〇2年 3月(2年度前)	702,250	108,221	25,211	33,210
令和〇3年 3月(1年度前)	721,185	115,390	29,268	31,660
令和〇4年 3月(借入年度)	682,000	82,000	10,075	30,000
令和〇5年 3月(1年度後)	646,000	86,000	14,950	28,000
令和〇6年 3月(2年度後)	700,000	117,000	34,450	26,000
令和〇7年 3月(3年度後)	720,000	120,000	49,075	24,000

※個人事業主等にあつては、「売上総利益」は売上高から売上原価を控除した金額、「税引後利益」は税引後の最終所得を記入。中小企業団体にあつては、それぞれ該当するものを記入。

【償還計画】

	左欄の金額 (千円)	各合計額 (千円)	債務償還年数 ①/②
借入申込の前年度末の長期借入金額	329,100	① 左欄の合計額 350,000	5.8年
本借入申込に係る借入額	20,900		
借入申込の前年度末の税引後利益	29,268	②左欄の合計額 60,928	
借入申込の前年度の減価償却費	31,660		

※「借入申込の前年度末の長期借入金額」は、「金融機関との取引状況」のうち「借入金」の長期の合計額を記入

※「本借入申込に係る借入額」は、「借入希望額」（設備導入計画の合計金額）を記入

※「借入申込の前年度末の税引後利益」と「借入申込の前年度の減価償却費」は、「決算実績と今後の予定」の「1年度前の税引後利益」と「1年度前の減価償却費」を記入

【連帯保証人予定者】

氏名	生年月日	住所	職業	年間所得
福島 太郎	S32年10月1日	〇〇市〇〇町2-5	会社役員	10,000千円
申請人との関係	代表取締役社長			